

議会だより

定例会

令和元年第3回定例会は9月11日に招集され、提出された案件を審議し13日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 4月9日
- 調査事項 北竜町防災計画について
- 調査結果 指摘事項なし

- 調査期日 6月12日
- 調査事項 JAきたそらち 精米施設について
- 調査結果 指摘事項なし

- 調査期日 7月10日
- 調査事項 河川の状態について
- 調査結果 近年、水害や融雪での被害による工事が多くなってきたため年次計画を作成し、改修工事を実施していくよう対応されたい。

- 調査期日 7月30日
- 調査事項 ひまわりの里整

備状況及び開花状況について
■ 調査結果 指摘事項なし

選挙

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
・10月31日任期満了に伴い、地方自治法の規定により選挙を行い、次の方が当選されました。

選挙管理委員

- 高橋 康詞 氏(再)
 - 石橋 裕司 氏(再)
 - 渡邊 俊成 氏(再)
 - 鶴飼 孝志 氏(再)
- 同補充員
- 齋藤 克司 氏(新)
 - 川上 英樹 氏(再)
 - 四辻 光子 氏(新)
 - 松田 力 氏(再)

同意

○教育長の任命について
9月30日任期満了のため任命に同意
有馬 一志 氏(新)

○教育委員会委員の任命について
9月30日任期満了のため任命に同意

竹林 信幸 氏(再)

○公平委員会委員の選任について
10月31日任期満了のため任命に同意
渡邊 靖範 氏(再)

原案可決

- 北竜町ひまわりバンク育成基金条例の一部改正について
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 農産物加工実習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 北竜町簡易水道事業給水条例の一部改正について
- 北空知衛生センター組合を組織する市町数の減少及び北空知衛生センター組合規約の変更について
- 深川地区消防組合を組織する市町数の減少及び深川地区消防組合規約の変更について
- 深川地区消防組合からの幌加内町脱退に伴う財産処分について
- 令和元年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について
- 令和元年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第1号)について
- 令和元年度北竜町介護保険

特別会計補正予算(第2号)について

○令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)について

○令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について

○令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第3号)について

認定

○平成30年度北竜町一般会計外6会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水)の歳入歳出決算認定と平成30年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について
・決算審査特別委員会(藤井雅仁委員長)を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

一般質問

9月11日に開会された第3回定例会では、4名の議員から6件の一般質問がありました。



小坂議員 消費税増税に伴う 対応について

小坂議員

10月、消費税増税に伴い、国は軽減策を色々打ち出している。以下の点について対応、進捗状況など、考えを伺う。

- ・北竜町振興公社での軽減税率対応レジシステムについて
- ・ポイント還元制度の対応について

佐野町長

北竜振興公社の対応については、「みのりうち北竜」はすでに軽減税率対応のレジシステムになっている。「サンフラワーパーク」は9月18日に新システムに更新。「ココワ」は、現在コープさっぽろの本部が10月1日の施行に向

けて準備を進めている。

ポイント還元制度への対応については「みのりうち北竜」は当面現金のみの対応とし、「サンフラワーパーク」は、ホテル、レストラン、売店で

可能となるよう準備を進めている。また、新たに電子マネーの導入も検討しているが、「ココワ」においては、「いなかーど」を優先するが、次年度コープさっぽろのシステムから切り離す予定で、その時点で電子マネー等の対応を検討する。

小坂議員

幼児教育の無償化で、北竜町が現在負担している補助金は解消されるのか。

佐野町長

現在、北竜町の子育て支援施策により通年入所している児童の保育料は全額免除としている。10月の子供・子育て支援法の改正により幼児教育の無償化が始まり、対象となる児童について、掛かる保育料の3/4の財源が補助金収入となるので、町の財源負担がその分軽減される。

小坂議員

国民年金における年金生活者支援給付金について、制度の概要と北竜町の需給対象者の割合は。

佐野町長

年金生活者支援給付金は、所得の低い方の生活を支援するために、年金に上乘せして支給するものであり、給付を受けるには、65歳以上の老齢基礎年金受給者で、前年の年金とその他所得の合計が、老齢基礎年金満額相当以下であり、同一世帯全員が町民税非課税であることとされており、本人の認定請求により受給権が発生する。国保連合会を通して年金事務所が調査を行っているので、町内の正確

な対象受給者の割合は答えられないが、全国的には三割から四割程度の人数を見込んでいる。

小坂議員

自治体ポイントとは、マイナンバーカードを利用したポイント制度だが、北竜町はすでに「いなかーど」を利用したポイント制度があるが今後の対応は。

佐野町長

マイナンバーカードの機能を使い、個人が自治体ポイントを購入し、そのポイントで買い物ができる仕組みであるが、事業参加にあたっては、国の動向を見ながら検討していくこととし、今後商工会とも協議しながら、当面は現在の方式を継続していく。



松永議員 公共交通と後期高齢運 転者の対策について

松永議員

松永議員

現在、当町では乗合タクシー事業を行っているが、時間予約での地域的不公平感があり不便を感じている。その他の補助付きの事業を検討して頂きたい。また、現在約500人いる後期高齢者の1割程度は運転免許証自主返納を考えている。少しでも返納しやすい対策を行うべきと思う

が、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

平成26年度から運行している乗合タクシーは、毎年度、登録者数が増加しており平成29年度と30年度の比較では30%増となっているが、今後、他町の状況の調査や関係機関と協議し不便の解消に努めたい。また、高齢者運転免許証自主返納サポート事業につい

ては、平成27年度の事業開始から平成30年度の4年間で50名の返納申請があり全員70歳以上であった。本事業では、警察署と役場窓口それぞれで申請が必要であり、完了まで1ヶ月程度を要する為、広報等を通じて事前失効等のトラブル防止に努めるとともに、不安を感じている家族からの相談の対応や移動サービス等の紹介、認知症対策事業での普及啓発を推進し、利用促進に努めたい。

松永議員

本町での乗合タクシーは1日6便だが他町では9便運航されており、予約も利用1、2時間前でも可能だと聞いた。停留所も本町は13ヶ所だが他町は40ヶ所ある。まずは当日予約だけでも可能にし、将来的に自宅前での乗降も出来る様にし、高齢者に優しい公共交通機関にして欲しい。また、免許証返納者に対する移動サービス等の紹介とあったが、どの様なサービスなのか伺いたい。

佐野町長

乗合タクシーについては、今後も事業の検証と他町の状況を踏まえ、町民が利用しやすいものにしていきたい。

東海林住民課長

移動サービス等とは、福祉有償運送サービスの事であり、主に介護認定や障害者認定を受けられた方の通院や外出に利用できる制度で、社会福祉協議会が運行している。

南波企画振興課長

他町が行っている様な乗合タクシーの運行は可能だが、委託先の和ハイヤー自体の業務との兼ね合いがあり、協議が必要。

松永議員

乗合タクシーについては半年前にも同様の要望をしたが進展がない。もっと真剣に取り組んで頂きたい。

佐野町長

今後、利用状況等も検証しながら改善していきたいと考えているのでご理解頂きたい。



松永議員

保育所と並木公園の今後の対応について

松永議員

保育所に関して、住民説明会や議会でも多く意見や指摘があったが、内装や体制に変更はあったのか。併せて、公園の維持管理についても変更はあるのか。また現在、町立やわら保育園と明記されているが町内1ヶ所の保育園名に「やわら」という字名は不適ではないのか。

佐野町長

意見の多くは保育士不足や外観に対するものであったが、園内の照明用ドレープを施設全体からホールの1ヶ所にするとともに固定式に変更した。公園については、防犯フェンス、街灯、防犯カメラの設置等を変更。維持管理は変更なくシルバー人材、NPO法人での委託または指定管理を考えている。

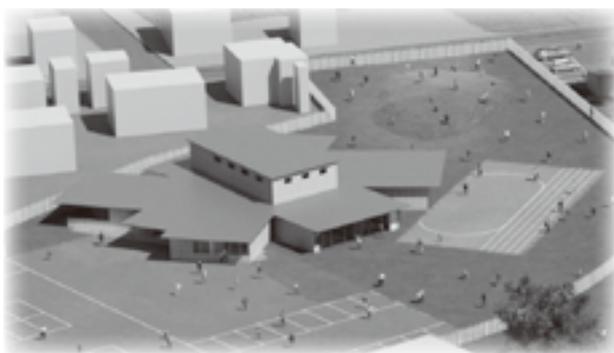
保育園の名称は、公園も併せて9月30日まで公募し決定することとしている。

松永議員

以前は地域ごとに保育所が4ヶ所ありそれぞれに地域住民、父母で構成する運営委員会組織があり保育所運営はもとより住民や父兄、保育士、役場とのパイプ役を担っていた。今後、担当課も含めこのような組織を立ち上げ、新保育所の諸問題の解決に役立てようか。

佐野町長

新保育園は町の施設だが運営は社会福祉協議会にお願いする予定であり、社協役員と保育士との面談もすでに行っている。今は当時の運営委員会の様な組織や苦情に対応する窓口などは必要ないと思っており、苦情等があれば対応



したい。

杉山和保育所準備室長

現在、保護者会から意見や要望が寄せられるようになっていく。加えて役場住民課入口に苦情や意見を投稿できる意見箱を設置している。

高橋副町長

保育園の運営については、松永議員の意見も取り入れながら、子供たちにとって魅力的な施設になるようにしていきたい。



藤井議員

真竜小学校の複式学級と授業について

真竜小学校では平成30年度から4・5年生が複式学級に該当することで、臨時職員を採用して学年毎の学級を維持している。

私も子供たちの学習・生活習慣の定着には学級の維持が必要だと感じているが、今後についてはどうか。

インターネットの使用等で学習方法が多様化してきているが、都会と地方の格差は依然として存在すると考える。このことについてどう考えるか教育長に伺いたい。

本多教育長

現在3年生の5名が卒業するまでの3年間は複式学級になるが見込まれるが、次年度以降の6年間は新入学児童が毎年10人程度いるのでほかの学年で複式学級になる可

能性は低いと考えている。ただ転出や特別支援に該当する

子供の数などは未知数なので複式解消に向けては取り組みが必要があると考える。

インターネット環境についてはデスクトップパソコンの更新や各普通教室にノートパソコン・タブレット・実物投影機配置・無線LAN設置などを行い、都会との格差のないよう努める。



中村議員

ふるさと納税の現状と今後について

平成30年度のふるさと納税金額が空知管内24市町合計で、前年対比45%増の55億6,156万円という報道があった。空知管内16市町で増加、北空知管内の北竜町以外の1市3町では15%から5.3倍と軒並み増加している。

北竜町は前年対比15%減の3億2,160万円とのこと。この要因についてどのよう分析しているか。また、他の市町村に納税したことによる、昨年度の本町における減収額はいくらになっているか提示していただきたい。

佐野町長

ふるさと納税は、平成27年度から毎年3億円を超える納税があり、平成30年度は3億2,155万9千円で15%減となった。10月までは2%増

だったが、11月から返礼額が50%から30%になったことが影響したと考える。また、他市町村への納税は、13件、11万3,692円となっている。

中村議員

返礼率が下がったことが、原因と言われたが、全国一律なのでそればかりではないのではないか。また、他市町村への納税も多いか少ないか分からないが、その分減少していることは確かである。

現在、北竜町の返礼品はひまわりライスを始めとする農産物が主体となっており、ふるさと納税をしてくれた方のコメントには、ぜひ北竜町を訪問したいというものがあ。そのことから北竜温泉宿泊などの返礼品があってもいいのではないかと思う。また、ひまわりまつりにおけるひま

わりの里の草取りや、真冬の体験や農業体験・農産物加工体験など様々な体験事業を加えても良いのではないか。

ひまわりの里の草取りなどは、ひまわりを咲かせるための苦労にも理解を深めてもらえることにもつながる。

南波企画振興課長

返礼品に体験事業というのは、過去にも提案があり担当係内で検討しましたが、一点目、換価できないサービス为国がどう判断するか。二点目に、北竜町は土地利用型農業が主であり、体験事業の期間が限られるので、周知、募集の仕組み作りが困難であることなどから実施していないが、今後も検討していく。

中村議員

ネット等を通じた北竜町との関りも大切なことではあるが、色々な形で北竜町民とふれあい、交流する場を持って北竜町や北竜町民の良さを実感してもらい、さらに寄付をしてもらえる環境を作りたい。





中村議員

ひまわり油再生プロジェクトについて

中村議員

5年前からひまわり油再生の取組みが行なわれ復活したが、自立生産にはなかなか厳しいものがあると思う。

ひまわり油を無くすことは決してできないものと思うが、今後の見通しについて伺いたい。

佐野町長

平成27年にスタートした国の地方創生事業が5ヶ年で今年が最終年度であり、翌年から新たに地方創生事業が始まる。現在は今年度までの5年間の事業について検証を行っている。

本事業については、ひまわり油の生産はもとより起業化の促進、企業や大学との連携、農業体験研修の実施等成果は上がっており、需要に応じた適正な規模で過大な行政負担

とならないよう努めて継続していきたい。

中村議員

ひまわり油が復活したことについては大いに評価できるものと思う。

この後のひまわり油再生協議会において、検証評価して次年度以降も継続して取り組んでいくということだが、新たな地方創生事業は何年間なのか。

南波企画振興課長

令和2年度から5年間であり、総合戦略、人口ビジョンの改定を今年度中に行い計画を策定する。プロジェクトについては推進交付金事業として行っているが、単なる継続事業は採択されないのでステップアップした計画が必要である。

また、新しい推進交付金事

業は町負担が1/2であるので、事業の選別を行いながら協議して進めていく。

中村議員

面積・量についても需要に応じて計画していくとのことであるので、無理のない範囲で今後さらに十分な協議を進め、より良い方策によって、町興しに大きな力を与えるよう取り組んでいただくよう期待する。

佐野町長

多額の町費負担が出ないよう需要に応じた生産と併せて企業との農業研修、起業促進、酪農学園大学との共同研究などの事業は無理のない範囲で継続し、生産者も生産技術を習得したところなのでJ Aと協力して進めていきたい。



議員

コラム

今年も、多くの実りを得た秋、皆さんも「ほっ」としていることと思う。私は農業従事者ではないが、何か私にも「ほっ」とした気持ちで、あたたかくなる時期だ。

私は酒・タバコなどを扱う雑貨店の息子に生まれたが、小さい時には家の裏に水田があり、親が米を作っていた記憶があるからかもしれない。稲穂が黄金色になってくると気持ちが良い心地よい。

北竜の基幹産業、農業がこれからも、良い形で発展することを望む。北竜には山がありダムが出来て、農業用の水量については少し安心できる場所ではあるが、その反面、水害もある。山に近いところでは、毎年のように水害が見られる。



(藤井雅仁)

議員の賛否の公表

(北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和元年第3回定例会 (会期：9月11日～13日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
選挙管理委員会及び補充員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	-
教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
公平委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町ひまわりバンク育成基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
農産物加工実習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町簡易水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知衛生センター組合を組織する市町数の減少及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
深川地区消防組合を組織する市町数の減少及び深川地区消防組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-
深川地区消防組合からの幌加内町脱退に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 1件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	-

決算審査特別委員会 (9月11日～12日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
平成30年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成30年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 2件	質疑 0件	質疑 6件	質疑 6件	-	質疑 3件	-	質疑 2件

次ページに続く



決算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
<p>『ひまわり観光協会の法人化について』 今後も観光客の増員（50万人、100万人）を目指すのであれば、観光協会の法人化をもう一度検討していく時期にあると思う。 また、入場料の徴収なども含め、観光産業としてのあり方をひまわりの里策定委員会でも議論していくべきと考える。</p>	<p>観光協会の人員、ひまわりまつりについては町職員と商工会職員により対応しており、現状がベストだと考えている。10年ほど前にも法人化について検討したが、法人化にはいたらなかった経緯がある。 また、策定委員会では観光客の増員についても議論をしていくが、先進観光地における観光公害などについても議論を深めていき、どのようにしていけば良いか議会とも一緒に検討していきたいと考えている。</p>
<p>『ひまわり油について』 地方創生交付金が今年度で最終年だと聞いているが今後もコーディネーター等に由来し、報酬は町費で負担し続けていくのか。また、今後のひまわり油をどのように行っていくのか展望を示していただきたい。 最後に、ひまわり油協議会がアドバイザーとして来てもらっている先生ありきになっており、町民との意思疎通ができていないように感じているため、町民主体となるように行っていただきたい。</p>	<p>アドバイザー講師謝金については特別交付税措置、コーディネーター報酬については推進交付金にて1/2助成にて支払っており、次年度以降については一定の区切りはついたと認識しているのでスリム化を図っていきたい。 協議会の運営についても日程調整が先生の都合に合わせた日程となっていたため、今後は町民が参加出来るような日程で行い、会議内容についても後日伝えていくようにしていきたい。 また、生産者からも今後の栽培面積がどのくらい必要なのか示してもらいたいとの意見も出ているのでそれらも含めて今後示していきたい。</p>
<p>『出産祝い金について』 平成25年の条例改正から年数も経過しているので実情に合わせた金額の増加を検討してはどうか。（特に第4子以降の増額など）</p>	<p>近隣市町村の金額等を調査し、検討していきたい。</p>

※議会と町内青年層との懇談会において出された意見についても質疑をし、今後に向けての答弁を受けました。引き続き町政に反映される様にいたします。